

つくしんぼ

No. 8

2021年7月発行



訪問看護ステーションつくし

〒352-0001

新座市東北 2-29-35

ワイズブルミエ 3階

電話: 048-487-2345

http://www.tmg-houmonkango.jp/tsukushi/



大阪、兵庫をはじめ、各地で新型コロナがまん延し、
医療を必要としている人が医療を受けられないという異常な状況も発生しています。
緊急事態宣言は解除になりましたが、オリンピックを前に
先の見えないトンネルの中でさまよっている様です。
ワクチン接種が一筋の光明になる事を祈ります。

感染防護具支援プロジェクト

訪問看護ステーションつくしは日本訪問看護財団の
感染防護具支援プロジェクトに参加しています。

新型コロナウイルス感染患者又は感染疑いで自宅療
養をしている方への在宅ケアチームを支援する目的で、
およそ1週間分の感染防護具セットを無料配布してい
ます。対象は、訪問看護ステーション、訪問介護事業
所、居宅介護支援事業所、看護多機能型居宅介護事業
所、小規模多機能型居宅介護事業所になります。

詳しいセット内容や申し込み方法は**日本訪問看護財
団webページ**で確認して下さい。

あくまでも、実際に不足している事業所に対しての
支援になります。備蓄目的では対象になりません。ま
た、市からも案内がありましたが、日本財団では在宅
ケアスタッフのPCR検査を定期的^に無料で行ってくれます。この様な支援を有効に使わせてもら
い、感染予防をしていきましょう。

GIFT FROM 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION
日本訪問看護財団「感染防護具支援プロジェクト」
在庫残り 2,281箱
2021年7月20日現在

感染防護具を無料配布

日本訪問看護財団は、感染防護具を無料配布しています。
感染の蔓延を防止するために、在宅ケアチームで有効にお使いいただくことを願っています。
(本事業は、日本財団様・メットライフ生命保険様からのご寄付です)

■お申込み対象は次の事業所です

訪問看護ステーション 訪問介護事業所 居宅介護支援事業所
 看護多機能型居宅介護事業所 小規模多機能型居宅介護事業所

■次のような状態の療養者やそのご家族がいる場合はお申込みいただけます

新型コロナウイルス感染者（疑いを含む）

新型コロナウイルス感染者（自宅療養中・宿泊療養中）
 感染したため入院治療後、退院患者
 濃厚接触者（自宅で経過観察中）

新型コロナウイルス感染の疑いのある者

発熱、味覚障害など感染を疑わせる症状がある
 吸引や人工呼吸器を使用し、エアロソール感染が考えられる
 感染拡大地域から家族または介護者が戻ってきて感染が疑われる
 その他

上記のいずれかに該当する場合、支援の対象になりますので、すぐにお申込みください。
お申込みは Web ページで受け付けています。

口腔ケアどうしていますか？

口腔ケアの道具も色々と増えてきていますが、私達
は十分使いこなせているのでしょうか？知っている
様で、間違った使い方をしていたりする事もあるの
ではないでしょうか。

歯科医師による口腔ケアのポイントについて動画を
見つけました。参考にしてみてください。

<https://youtu.be/zVgOvsjGIMM>



『月刊 難病と在宅ケア』4月号に当ステーシ
ョン難病認定看護師の看護研究が掲載されました。

特集 2 / オンライン機能等の看護支援 [第 2 部]

在宅 ALS 患者の QOL 評価
～ SEIQoL-DW を用いた TPPV 開始前後の比較～

医療法人社団 武蔵野会
訪問看護ステーションつくし
おかわり ともこ
岡田 智子

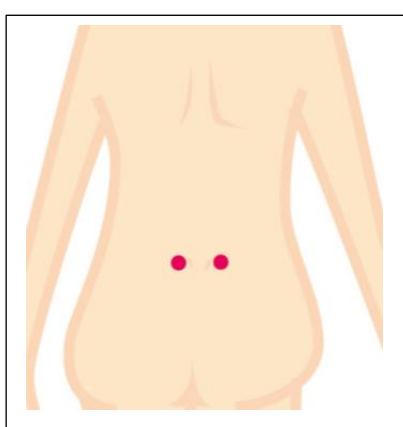
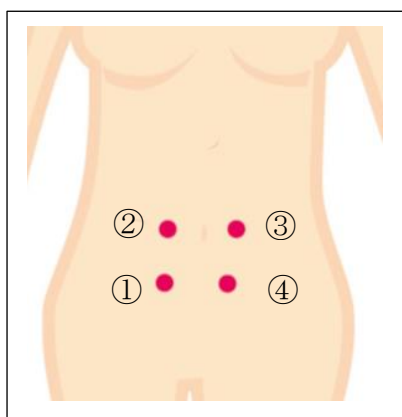
うんちのはなし⑤



今回は腸を動かすツボです。

排便を促す腹部マッサージは有効な手段の一つです。「” の” の字」を書くようにと、よく言われています。もちろんそれでも効果はあるでしょう。しかし、今回はツボをご紹介します。

まずはおへそを中心に温めます。手を当てて温めたり、ホットパックを使って温めると効果的です。次に図の様にお腹のツボ4つを押していきます。②と③はお臍から左右指3本位横、①と④は②と③からそれぞれ指3本下の位置です。ゆっくり気持ちがいい程度の圧をかけて、順番に押しいきましょう。腰骨の一番上の所にもツボがあります。さすってあげるとよいでしょう。



ちなみに、訪問看護ステーションつくしでは、手作り玄米ホットパックを利用しています。

電子レンジで50秒程度温めると30分位は暖かい状態を保てます。じんわりと深部まで温まるので、効果抜群です。

訪問看護の現場から

A氏は廃用症候群で生活のほとんどに介助が必要な状態の方です。軽度認知症があり、中度認知症の妻と二人暮らしで、身の回りの事は妻が行っています。冷蔵庫には同じ食材が多量に詰め込まれ、電子レンジにはエプロンが丸めて入っています。調理をしている形跡はなく、A氏の食事は妻が惣菜を買ってきて、介助で食べさせています。

妻は自分の病状に自覚はなく、介護サービス拒否がありました。娘さんの説得でA氏の訪問看護だけは受け入れてくれましたが、訪問中に一言も話はしませんでした。関わり始めてすぐの頃、訪問した際にA氏に妻がテーブルに置いてあったパックのポテトサラダを介助で食べさせようとしていました。



ポテトサラダの消費期限は2日前になっており、すくったところで糸をひいていました。思わず妻に、「それは賞味期限が過ぎているからやめた方がいい」と言ってしまいました。妻はその場に、持っていたサラダとスプーンを置いて、何も言わず外に出て行ってしまいました。今でも、どう対応をすれば、妻を傷付けずにすんだのか後悔の残る事例です。